

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
湯田温泉周辺地区

平成28年3月

山口県山口市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	足湯の利用者数	人/月	2,250	2,700	1,422	確定 見込み ●	×	あり なし ●	1,932	H27年10月	×	美装化や路地再生により回遊性が向上し、湯田にある複数の足湯に利用客が分散したため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	整備により、事後評価時点より利用者数が増加したが、目標達成には至らなかった。複数ある足湯に分散したためと思われ、今後、計測方法を検討していく必要がある。
指標2	放置自転車の数	台/日	300	0	0	確定 ● 見込み ○	○	あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	湯田温泉駅駐輪場(建物、育空)の設置により自転車の取容が可能となったことに加え、利用者マナーの向上にも寄与し大きな効果が発現した。
指標3	接道不良敷地率	%	27	0	2	確定 ● 見込み △	△	あり なし ●				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域創作支援事業の事業取りやめ(計画変更)により、目標値は未達成となったが、基幹事業の道路整備により大きく向上した。
指標4						確定 ● 見込み ○		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ● 見込み ○		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	更なる回遊性の向上	・整備した路地空間等を活かしたイベントを複数回開催 ・湯田温泉観光回遊拠点施設に情報発信のパンフレット等を設置 ・井上公園リフレッシュ整備に着手	・様々なイベントの開催により、湯田温泉に観光客が集まり、より多くの来訪者に歩行空間の高質化および路地空間の回遊性の魅力を発信できた。 ・成長しすぎた樹木の伐採や、老朽化した施設のリフレッシュ整備等により、園内の見通しが良くなり、防犯上の安全性が向上し、さらに利用者も増加とともに回遊性も向上した。	・観光客に浸透するような、イベントの開催 ・更なる回遊性の向上を図るため、公園に接した道路の高質化整備をすすめる。
	更なる憩い・交流空間の創出	・市外地内への広場整備に向けた、地元住民との意見交換 ・広場内に休憩施設(何遠亭)を整備した。	・地域住民と意見交換を行うことで、地域住民にまちづくりについて興味を持ってもらうことができた。また、地域住民と市との交流が促進された。 ・休憩施設(何遠亭)が整備され、来街者と地元住民との憩いの場ができ、新たな交流が創出された。	・地域住民の意見を十分に反映するための意見交換会 ・今後も地元と市が連携して人と人とが交流できる仕掛け作りに取り組む
	湯田温泉駅での景観の維持確保	・足湯の清掃等、整備した施設の維持管理を地元組織が実施	・足湯の清掃等の維持管理等を適切に行い、景観の維持が確保されている。	・整備した施設の官民協働による適切な維持管理 ・地元組織による施設の維持管理等の活動への支援
	道路整備により向上した交通安全の維持確保	・更なる交通安全性の維持の確保のため、危険と思われる箇所の現地確認 ・通学路の安全性向上を目的として、山口市通学路交通安全プログラムを策定	・今後の安全施設の整備に向け具体的な整備案を提案できた。 ・道路関係機関と連携して危険箇所の点検、対策案の検討、対策を実施し、通学路の安全に対する意識が高まった。	・小学生等を交えた交通安全指導等のソフトの取り組み ・今後も安全対策実施後の効果検討等を行い、継続的な安全確保に取り組む
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	継続的な来訪者の確保	・地元のまちづくり団体等によるイベント(湯田温泉白狐まつり、酒まつり)など、様々なイベントの開催 ・観光資源である歴史公園の整備	・様々なイベントの開催により、湯田温泉の観光客は増加傾向にあり、認知度も少しずつ向上している。	・来訪者も楽しめる継続的なイベントの開催
	湯田温泉駅・湯田地区を結ぶ歩行者ネットワークの形成及び更なる回遊性の向上	・湯田温泉観光回遊拠点施設(狐の足あと)において、企画展示や地域資源の情報発信を実施した。 ・2期計画の美装化に向けた地元調整	・湯田温泉を中心としたイベント等を実施することで、地区内に新規来街者の発掘と湯田温泉の魅力発信に寄与した。	・今後も湯田温泉の魅力を情報発信していくことが必要 ・湯田温泉駅や観光案内所等の拠点における更なる情報発信 ・2期計画の美装化等による歩行空間の高質化および路地空間のネットワーク化
	残存する狭あい道路での安全確保	・一部の狭あい道路解消に向けた設計業務を発注。 ・狭あい道路の道路改良(市道若宮町今井町線)に着手 ・地区内の生活道路へ安全施設を設置	・歩行者が安全に通行できるよう、開水路を蓋かけ水路へ整備する業務に着手した。 ・路肩等に安全施設(デリネーター)を設置により、通行するドライバーや歩行者への注意喚起が図られた。	・早期に事業を進めるとともに、更なる周辺道路の危険箇所への安全対策に取り組む ・今後も危険箇所の点検パトロールを行い、更なる安全確保に努める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項